

国際アートフェア「LINEART 2011」

- ・主 催 : I. J. V. Z. W. INTERNATIONAAL CONGRESCENTRUM
- ・参加画廊数 : 141 画廊
- ・参加国数 : 13 カ国

Lineart2011で特筆すべきことはやはり2009年の中国、2010年のシンガポールに続いて「Focus on Japan」というエリアが日本からの5画廊と欧州から日本美術を扱う2画廊の計7画廊によって構築され、Lineart 30年の歴史の中で初めて日本美術が特化されたことだと思います。

開催に合わせて創刊された美術誌「Art Lover」でも「Focus on Japan」が特集され、LineartTV というインターネット (Youtube) 上のチャンネルでも大きく取り上げられました。在ベルギー日本大使館広報文化センターの佐藤啓子所長や倉富健治一等書記官もヴェルニサージュにお越し下さり、会場内のカフェテリアではお寿司とお酒が出る等、今回、華々しく日本がフォーカスされたことは非常に喜ばしいことと存じます。

また前年、弊廊がノミネートされたLineart Gallery Awardでは、今回、東京・京橋のSilver Shellさんが初参加でノミネートされ、授賞式でその功績を讃えられました。そして評論家等の専門家の方々が選ぶ「Art Lover」に日本人作家が数名選出されたこともとても印象的でした。

前年は大寒波の影響で来場者が激減しましたが、今年は天候に恵まれ、多くの来場者が戻りたいへん賑わいました。会期中には、約1年半ものあいだ混迷し無政府状態だったベルギーの新政権がようやく発足して大きなニュースとなっていました。

ただ、参加画廊数は前年の125画廊よりも増えていたものの、それぞれのブースサイズは小さく、フランダースエキスポのメインホールを埋め尽くす迄にかなかったことと、「Lineartは今回が最後でもう無くなるのではないか」という噂が広がり、会期中に主催者から「そんな噂はデタラメで、これからもLineartは続きます。」と公式なコメントを書面でリリースする等、昨今の欧州経済危機の影響は否めませんでした。

弊廊ブースに於いては、今年も毎年必ずお買上げ下さるコレクターお二人が、そして以前からのコレクターが6年ぶりに大きめの作品を、さらに美術誌「Art Lover」発行人兼、コレクターが新たに、合計3作家4作品をお買上げ下さりました。その他の弊廊コレクターもたくさん来られましたが残念ながら販売に至りませんでした。

弊廊は2000年より毎年Lineartに参加し、2009年からは日本の画廊の窓口として従事して、今回の「Focus on Japan」企画開催に至るまでの信頼を現地で得ております。この12年間は好い年もそうでない年もありましたが、なんとか続けてこられたのは一重に良質な作品を展示しつづけてきた賜物だと自負しております。今後も毎年増え続ける弊廊の現地コレクターの方々へ更に良質な作品をご披露すべく精進して参ります。